

### 民生リベラル東大阪

ある。市は平成二十年に「東大阪市外郭団体統廃合等方針」により一定の方向性を示してはいるが、この間の推移を見る限りでは具体的

な成果が上がっているとは言えない。今後、新しい公益法人制度への移行期限も迫る中で、より迅速かつ実効性ある見直しを実施するために、この間の再検討を急ぐ必要があると考えるがど

うか。  
経営企画部長 外郭団体の経営状況や事業内容を随時点検していく過程で、よりよい方策が見出せた場合には見直しを検討していく必要があると考えている。

### さわやかな風

関わる問題であると言える。市長は、今回の問題に対してどう取り組むのか、又自身の責任についてはどう考えているのか。

【市長】 市政の最高責任者としてこの事態を深く受け止め、重く責任を感じている。対象市民に対して返還することを最優先し、早急に作業を進めている。  
【民生生活部長】 公表が

遅れたのは納付金にこれ程影響するとは考えておらず反省している。また、対象者の人口の減少がありながら各担当課の連携が組織的に機能していなかったことは指摘のとおりである。

### さきがけ

代表質問 中西 進泰

#### ーびん缶の分別収集ー

本市においてびん缶は一般の家庭のごみと分別して収集がおこなわれているが、一緒にパッカー車で混合して収集されるためびんと缶は圧縮破碎され、その後の分別を困難にしている。びん缶の収集は混合しておこなうのではなく、収集の段階で分別しパッカー車ではなくトラックで集めることが、びんの再利用を可能に

びん缶の混合収集は継続されるわけで、今後は収集体制を根本的に見直していく必要性を指摘した。  
ー再生資源の活用ー

分別収集されたごみは、大東市とともにつくる東大阪都市清掃施設組合に搬入され、(財)日本容器包装リサイクル協会が指定するリサイクル業者に運搬されて再生されるが、運搬先が遠方であると送料コストがかかるし、再生資源にされたものを商品化する企業が東

大阪にあってもそれを活用出来ない現状がある。東大阪の企業が東大阪で出たごみでリサイクルされた資源を利用できる仕組みづくりが求められると考える。  
この点について、関係団体や本市関係部局などとその方策を研究していきたいという答弁をえた。ものづくりのまちとして、リサイクル業者や再生された資源を利用して商品化する業者を育て、環境ビジネスへの取組みを支援していくこと

は本市経済の活性化につながることであると考える。  
ー東診療所のあり方ー

東診療所は市立東病院が廃院になった後、平成四年に地元の強い要望でできたが、平成五年にできた介護老人保健施設四条の家とともに地域のニーズに添えてきて地域の中における存在感はひじょうに大きなものがあるといえる。今度出された(仮称)東大阪市新集中改革プランの素案では、四条の

った。新駅設置については、平成十二年に地元より提出された設置を求める請願が議会で全会一致の採択となるなど非常に関心が高く、我が会派も市に対して繰り返し早期実現を求めてきたところであるが、実現に向けた具体的な計画は未だ示されていない。そこで我が会派は、今定例会で他の二十二人の議員とともに、市長より提案された予算を修

正して新駅設置計画等を策定するための経費三百万円を新たに設けた議会修正案

に賛成し可決された。今後新駅設置の実現に向けた取り組みを強く求めていく。

### 民主党東大阪

個人質問 笹谷 勇介

### JRおおさか東線(仮称)「衣摺・大蓮新駅」設置計画等の経費三百万円を議会修正で予算化!

三月十九日の本会議において、JRおおさか東線「JR長瀬駅」と「新加美駅」間における新駅設置計画の進捗状況について質問をした。「おおさか東線は昭和二十七年に客線化の要望が地

元から湧き上がり、平成八年に大阪府・東大阪市・八尾市・JR西日本などが出資して建設主体となる大阪外環状鉄道株式会社を設立した。平成三十年には新大阪駅までの開通が予定され

るなど、今後本市の交通の要となる路線であり、早期実現が求められるが進捗状況はどうか」との質問に対し、「出資者間で協議を進め、事業着手に関する合意形成を図りたい」との答弁があ



地元住民の願いである新駅設置を求めています。(JRおおさか東線)